



2016年G7サミット・環境大臣会合開催経費

平成28年度要求額
182百万円（新規）

背景・目的

以下の理由により、G7富山環境大臣会合の開催が必要であることから、その議論の成果をG7サミットにインプットすることにより、G7サミットでの環境問題に関する議論の充実を促す。

- サミットにおいて気候変動等環境に関する議題を取り上げることや多様な大臣会合が地方で開催されることが想定されている。
- 2015年（平成27年）は持続可能な開発のための2030アジェンダの採択や気候変動枠組み条約第21回締約国会議（COP21）における2020年以降の枠組みについての合意が企図されており、これらで決定された事項等についてハイレベルの交渉及び検討を進めるための政治的モメンタムが必要である。
- 独・エルマウサミットで気候変動、持続可能な開発のための2030アジェンダ、資源効率等が議論され、我が国に対して関連議題の継続展開が期待されている。

事業スキーム

請負対象：民間団体等
事業実施期間：平成28年度のみ



事業概要

本会合の開催にあたってサブ、ロジ両面で必要となる、環境省職員の派遣、各国大臣等の招聘、会合文書や広報資料の作成、通訳や警備の手配、必要な会場や資機材の手配等を行う。

期待される効果

主要国等の環境担当閣僚が率直な意見交換を行い、地球規模の環境問題の解決に向けた環境政策・行動を提言し、G7サミットにインプットすることにより、環境問題における我が国のリーダーシップを発揮する。

G7 富山環境大臣会合

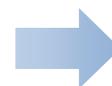
日時：2016年5月15日（日）-16日（月）
場所：富山国際会議場（富山県富山市）

【想定される検討事項】

- ・ COP21で2020年以降の温室効果ガス排出削減の新たな国際枠組みが採択される予定。COP21の決定事項に基づき、新たな枠組の実施に向け、ハイレベルの交渉及び検討を進めるとともに、先進国としての各国での温暖化対策を着実に進める。
- ・ 持続可能な開発のための2030アジェンダに盛り込まれた「持続可能な開発目標（SDGs）」は、環境分野のターゲットが12のゴールにわたる。環境分野のSDGsの取組の効果的実施について、先進国として世界に率先した取組を示す。
- ・ エルマウサミットの合意・招請事項履行の報告を受けるとともに我が国が主導している循環型社会・3Rを提案する。



前回の日本で開催したG8神戸環境大臣会合の様子



G7伊勢志摩サミット